

令和5年度 こども園（保育園）関係者評価
施設自己評価シート

園名： 矢崎おひさま保育園

【園の教育・保育目標】

・家庭を基礎に、家族・友達・保育者・地域の人々など豊かな人間関係の中で、愛される喜びを知り、他を愛することができる心を育みます。
・子どもたちの健やかな心身の発達のため、家庭と地域と協力し、様々な活動を通して一人一人を尊重し、「生きる力」を育みます。

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

わらべ歌や触れ合い遊びが伝承できるように取り組む。
入所率を高めるために、会社の掲示板等を利用して、情報発信をしていく。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	評価	評価理由
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスの中で、重点目標の内容を確認し、指導計画の作成をしていった。 ・園の特性を踏まえて7つの活動を意識し、取り組むことができた。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスや毎日の振り返りの時間の中で、保育の計画や反省、子どもの姿を共通理解していくことができた。 ・長期的指導計画と短期的指導計画の連携と1,2歳児合同の月指導計画の作成に難しさがあった。 ・園児に対する援助の仕方に難しさがあった。
III. 子どもにとっては 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心ゆくまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	4	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数のため、個々の育ちに合わせて家庭的な保育を展開していくことができた。 ・自然の中での活動を積極的に取り入れることができた。 ・会社の人や他園交流を通して、色々な人との関わりを大切にしていた。
IV. ファミリーにとっては 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ	4	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日振り返りの時間を設けることで、その日の様子を職員間で共有し、保護者に伝えていくことができた。活動写真の配布やモニターを通して、園の様子を具体的に伝えていくことができた。 ・丁寧な挨拶や、個々に合わせた声かけを心掛けた。
V. 地域にとっては 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように	4	<ul style="list-style-type: none"> ・会社の中の掲示は、年間計画に添って、計画的に実施し情報発信していった。 ・赤ちゃんサロンの実施や一時保育の受け入れをし、園児以外の子どもも支援していった。
VI. スタッフにとっては 1. 個性が活かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ	4	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の振り返りの時間を通して、保育の振り返りや業務の見直し、職員間のコミュニケーションを促した。 ・積極的に研修に参加し、職員間で共有し、保育に活かしていった。 ・個々の特技を活かし、業務に取り組んだ。